

台湾ミッションの概要について

第1日 [平成26年11月7日(金)]

1 台北国際旅行博 (ITF) オープニングセレモニー参加

(1) 日時 (時刻は現地時間、日本との時差は-1時間)

平成26年11月7日(金曜日) 10時00分から10時45分まで

(2) 場所

台北世界貿易センター (台北市)

(3) 参加者

馬英九(ば えいきゅう) 総統、葉匡時(よう かんじ) 交通部長、謝謂君(しゃ いくん) 交通部観光局局长、賴瑟珍(らい そちん) 台湾観光協会会長、鈴木英敬三重県知事、アメリカ、韓国等の在台湾外交団、中華航空会長等計17名

(4) 概要

知事は、毎年30万人以上が来場する台湾最大の国際旅行博である台北国際旅行博(ITF)のオープニングセレモニーに日本代表の一人として参加し馬総統、台湾観光局謝局長各国大使等とともに、オープニングのテープカットを行いました。

これにより、台湾での三重県の存在感を高めるとともに、台湾観光関係者との関係をさらに強化しました。



※テープカットに参加する鈴木知事
(左から3人目)、馬総統(一番右))



※挨拶する馬総統

2 チャイナエアライン社長との昼食交流会

(1) 日時 (時刻は現地時間、日本との時差は-1時間)

平成26年11月7日(金曜日) 12時30分から14時15分まで

(2) 場所

リージェント台北ホテル (台北市)

(3) 参加者

林鵬良(りん ほうりょう)チャイナエアライン社長、羅皓明(ら こうめい)チャイナエアライン台湾地区処長、李嘉進(り かしん) 亜東関係協会会長、陳志任(ちん しにん) 亜東関係協会総務部長等 台湾側計6名

鈴木英敬三重県知事、尾頭嘉明（びとう よしあき）中部国際空港株式会社取締役執行役員等 三重県側計 5 名

(4) 概要

知事から林社長に対し、昨年 10 月に孫洪祥（そん こうしょう）同社会長に要望し 10 月 29 日より週 13 便から週 14 便となった台北－中部国際空港便の増便についてお礼を述べるとともに、三重県として今後、台湾第 2 の都市高雄市からの誘客に向けた取組に注力していくこととしており、誘客増大に向けて不可欠となる高雄－中部国際空港便の早期復活を要望しました。

林社長からは、路線復活に向けては、その後の搭乗客の安定的な確保が重要との発言があり、知事からは、高雄と三重を含む中部地方との人の往来を増やすよう三重県としても努力してゆくとして前向きな検討を依頼しました。



※記念撮影

左：林チャイナエアライン社長
右：李亜東関係協会会長



※記念撮影

右：尾頭中部国際空港株式会社
取締役執行役員

3 台北国際旅行博（ITF）メインステージ出演

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は－1 時間）

平成 26 年 11 月 7 日（金曜日）15 時 30 分から 16 時 00 分まで

(2) 場所

台北世界貿易センター（台北市）

(3) 参加者

鈴木英敬三重県知事、志摩市のゆるキャラ「しまこさん」、海女保存会会長三橋まゆみさん、「ALLOVER（オールオーバー）」4 名（秋月（あきづき）ゆめ、中山瀬梨奈（せりな）、夏井みく、徒然（つれづれ）みおれ） 計 7 名

(4) 概要

まず、海女衣装に使用する緋（かすり）生地（色は濃紺と赤）のバンダナを付けた ALLOVER の 5 名が、日本の強みであるポップカルチャーと伝統文化を融合させた元気あふれるパフォーマンスを見せました。

その後、知事が、志摩市のゆるキャラ「しまこさん」、海女保存会会長三橋まゆみさんとともにステージに登場し、日本で最も現役の海女が三重県に多いこと、外国人観光客

にも人気の「海女小屋」では伊勢エビなどの海の幸が食べられることなどを PR しました。

日本のポップカルチャー「アキバ系アイドル」と、ゆるキャラ「しまこさん」への注目度は非常に高く、これに日本の伝統文化である「海女」の組み合わせたステージでは立ち見を含め、およそ 300 名を超える観客がビデオやスマートフォンのカメラで熱心に撮影する姿が見られました。



※海女をテーマに PR する ALLOVER
知事、三橋まゆみさん、しまこさん



※ALLOVER のステージ風景

4 新北市副市長との面談

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は－1 時間）

平成 26 年 11 月 7 日（金曜日）17 時 15 分から 17 時 45 分まで

(2) 場所

新北市政府庁舎（新北市）

(3) 参加者

高 宗正（こう しゅうせい）副市長、頼 宇亭（らい うてい）観光旅遊局局副局長等
新北市側計 5 名

鈴木英敬三重県知事、谷合隆観光・国際局次長等 三重県側計 3 名

(4) 概要

知事から、昨年及び今年の台北国際旅行博（ITF）展示ブースにおける観光情報提供などの相互協力や新北市 3 大祭りである平溪国際天灯祭りへの三重県観光・国際局長の参加及び三重県ブース出展など、新北市政府の協力に感謝を申し上げるとともに、来年 2 月に開催される平溪国際天灯祭りには、県民ツアーを募集し 100 名を超える三重県民を新北市に訪問してもらうことで相互協力に貢献したい旨発言しました。

これに対し、高副市長からは、これからも観光交流を活発に続けて行きたいとの発言があり、観光交流をさらに発展させることが確認されました。

また、新北市の八煙（やえん）棚田と三重県の丸山千枚田の棚田など双方に共通の観光資源を互いに紹介することや、新北市で先進的な取組が行われているビッグデータの活用、防災面の情報共有について意見を交換しました。



※意見交換する知事と高副市長

5 台湾經濟部工業局長、TJPO 執行長、市政府經濟發展局幹部等との意見交換

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は－1 時間）

平成 26 年 11 月 7 日（金曜日）18 時 00 分から 20 時 10 分まで

(2) 場所

シェラトン・グランデ台北ホテル（台北市）

(3) 参加者

呉 明機（ご めいき）台湾政府經濟部工業局長、張 啓裕（ちょう けいゆう）台日産業連携推進オフィス（TJPO）執行長、龔 仁文（きょう じんぶん）財団法人資訊（しじゅん）工業策進会副執行長、葉 恵青（よう けいせい）新北市政府經濟發展局局長、王 正青（おう しょうせい）台湾機械工業同業公会（TAMI）秘書長、陳 慧君（ちん けいくん）台湾区電機電子工業同業公会（TEEMA）副秘書長、王 世豪（おう せごう）中国信託商業銀行副總經理、台湾企業等 台湾側 16 名

鈴木英敬三重県知事、ジェトロ三重職員、県内企業等 三重県側 10 名

(4) 概要

①「台湾と三重県の産業連携推進プラン」署名

はじめに、三重県と TJPO が平成 24 年 7 月に締結した「産業連携に関する覚書」(MOU) の内容をさらに具体化した「台湾と三重県の産業連携推進プラン」について、知事と工業局長の立会いのもと、村上亘・雇用経済企画総括監と、張啓裕・TJPO 執行長が、推進プランに署名を行いました。これは、双方の産学官交流による産業の高度化や、グローバル市場の共同開拓などを目的とするもので、双方の実施体制や産業連携の方法、スケジュールなどを明記した推進プランを TJPO との間で策定するのは、三重県が全国初となります。（プラン内容は別添参照）

調印式で、呉明機工業局長から、「先の MOU 締結から 2 年以上にわたり、食品加工分野などで三重県、ジェトロ、三重大学が一体となって協力していただき、活発な台日産業連携の枠組みが出来上がっている。今後は、産業連携推進プランに沿って、三重県とともにさらに産学官連携とグローバル市場の開拓に挑戦することで、地方自治体との産業交流の模範としていきたい。」との発言がありました。

これに対して、鈴木知事から、これまでに行ってきたビジネスマッチングなど産業連携の様々な取組への感謝を伝えるとともに、TJPO が 11 月 14 日からの「みえリーディング産業展 2014」に 2 度目のブース出展をすること、四日市市内で開催する「第 2 回日台若手経営者意見交換会 in 三重」に台湾の若手経営者等 22 名が来県されることなど、推進プランの取組が早速動き出していることに期待を示しました。

②意見交換会

知事から、交流の「すそ野」と「分野」の広がりを目指すうえで、新北市政府や経済団体等が持つ台湾企業のネットワークに期待しており、特に「台湾企業が日本企業に何を求めているか」を具体的に知りたいこと、逆に台湾との産業連携に関心がある県内企業から聴き取った課題やニーズを TJPO に共有し、今後の取組に反映していきたいことを伝えました。

そのうえで、来年度中に日台若手経営者交流を再び台湾で開催することや、今後もランタンフェスティバルに三重県が積極的に参加していくこと、また新北市に建設予定の三井林口アウトレットパークで将来「三重県フェア」を開催したいことなど、産業連携推進プランに沿った取組について認識が一致しました。



※あいさつする鈴木知事



※推進プラン署名後の記念撮影
(写真右から、張啓裕 TJPO 執行長、呉明機工業局長、鈴木知事、村上雇用経済企画総括監)

6 台湾観光局長との夕食交流会

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は－1 時間）

平成 26 年 11 月 7 日（金曜日）20 時 30 分から 22 時 00 分まで

(2) 場所

ホテル・ロイヤル・ニッコー台北（台北市）

(3) 参加者

謝 謂君（しゃ いくん）交通部観光局局长、頼 瑟珍（らい そちん）観光協会会長、戴 啓珩（たい けいこう）観光協会副会長、林 坤源（りん しんげん）交通部観光局国際組組長等 台湾側計 8 名

鈴木英敬 三重県知事、小柴眞治安濃津よさこい組織委員会会長、野並健治合歓の郷ホテル&リゾート代表取締役社長、中川廣一美杉リゾート副会長等 三重県側計 6 名

(4) 概要

知事から、平成 25 年の「2013 日台観光サミット in 三重」の開催、平成 25 年及び平成 26 年の台湾ランタンフェスティバルへの三重県ランタンの出展などへの協力、及び平成 26 年 2 月の「2014 台湾観光貢献賞」授与に対しお礼を述べるとともに、同日午前で開催された台北国際旅行博（ITF2014）において、日本代表の 1 人として荣誉あるテープカットに参加したことに感謝を表明しました。

また、知事から、日台観光サミット三重宣言で合意した日本と台湾との交流人口 400 万人に向けて、双方向の交流をさらに深化させていくことが重要であり、まずは来年 2 月に開催される平溪国際天灯祭りに県民ツアーを募集し、100 名を超える三重県民を新北市に訪問してもらうことで貢献したい旨発言しました。

最後に、知事から謝局長及び頼 瑟珍（らい そちん）台湾観光協会会長並びに戴 啓珩（たい けいこう）台湾観光協会副会長に対し、これまで三重県観光の発展に貢献していただいたことに対し感謝の意を表する感謝状を贈呈しました。



※謝局長への感謝状贈呈



※頼会長への感謝状贈呈



※戴副会長への感謝状贈呈

7 JA グループ三重と台湾農会による食文化交流会

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は－1 時間）

平成 26 年 11 月 7 日（金曜日）15 時 30 分から 17 時 30 分まで

(2) 場所

台湾農会本部（台中市）

(3) 参加者

蘇 榮慶（そ えいけい）台湾農会副理事長、陳 秋良（ちん しゅうりょう）南投県農会主任等 台湾農会側計 13 名

奥野長衛（ちようえい）三重県農業協同組合中央会・各連合会共通会長、西村訓弘（のりひろ）三重大学副学長、橋爪彰男三重県農林水産部長等 三重県側計 13 名

(4) 概要

交流人脈の構築等のため、両地域を代表する農産物である「お茶」をテーマした「親善茶会」を通して双方のお茶の認識を深めるとともに、米加工品やジャムなどその他の農産物・加工品等の紹介・試食を行いました。

台湾農会の蘇副理事長からは、台湾農業の現状と農業分野での台湾と三重県の交流を深めたい旨の挨拶がありました。

交流会には三重県農林水産部長が出席し、農業分野でのこのような交流・連携を支援していくとの知事のビデオメッセージを届けました。



※奥野会長と蘇副理事長の握手



※お茶会の様子



※団体代表の集合写真

1 三井林口アウトレットパーク建設地視察

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は-1時間）

平成26年11月8日（土曜日）8時15分から9時00分まで

(2) 場所

三井林口アウトレット建設地（新北市）

(3) 参加者

篠塚寛之三井不動産アジア株式会社台北支店総経理、山本智同社協理、和田山竜一三新奥特莱斯（さんしんアウトレット）株式会社総経理 三井不動産側計3名

鈴木英敬三重県知事、野並健治合歓の郷ホテル&リゾート代表取締役社長、谷合隆雇用経済部観光・国際局次長等 三重県側計5名

(4) 概要

立地場所である新北市と三重県は観光協定を締結していること、三重県内に拠点を持つ三井不動産による事業であること、三井家が三重県に起源を有することなど、本施設・三重県・新北市の多くの共通点をきっかけとした事業連携について意見交換しました。

篠塚総経理から、「屋外の大型イベントスペースや屋内レストランエリアにある『食』のイベントスペースを活用し三重県の情報発信をしてはどうか。」との提案がありました。知事から、「三重県関係企業への出店呼びかけを検討したい」と表明し、「2015年下半期の本施設の開業時期が新北市との観光協定締結（平成25年10月21日）から2周年にあたることから、観光と食・物産を組み合わせた周年記念イベントの開催を検討するので協力をお願いしたい。」と依頼しました。

また、ジャズドリームナガシマとの連携イベントの開催や高雄市に建設中の鈴鹿サーキットパークでも同じ時期に三重県PRイベントを開催することなどについて意見を交換しました。



※オフィスで概要説明



※建設現場視察

2 五福旅行社幹部との昼食交流会

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は-1時間）

平成26年11月8日（土曜日）12時00分から13時00分まで

(2) 場所

シャトー・デ・シン・ホテル高雄（高雄市）

(3) 参加者

陳世雄（ちん せゆう）副会長、高雪禁（こう せつふん）日本担当 五福旅行社側計 2 名

鈴木英敬三重県知事、野並健治合歡の郷ホテル&リゾート代表取締役社長、中川廣一美杉リゾート副会長等 三重県側計 4 名

(4) 概要

知事から、平成 25 年には約 1,600 名と既に多くの台湾観光客を三重県に送客していただいていることに感謝の意を表明するとともに、「今後は台湾第 2 の都市である高雄市からも誘客に向けた取組に注力していくので、より一層の協力をお願いしたい。」と依頼しました。

陳副会長からは、「停止中の高雄－中部国際航空便の復活に向けた働きかけをしてほしい、台湾からのツアーに関しバスが足りていない」などの意見がありました。

また、知事から、2016 年 5 月に開催される高雄国際旅行博（KTF）に三重県として初めて出展する意向を表明しました。



※記念品交換

3 鈴鹿サーキットパーク建設地視察

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は－1 時間）

平成 26 年 11 月 8 日（土曜日）13 時 30 分から 15 時 00 分まで

(2) 場所

高雄地下鉄会社本社ビル及び同ビル前建設地（高雄市）

(3) 参加者

陳菊（ちん きく）高雄市長、蔡明璋（さい めいしょう）大魯閣（たろこ）開発株式会社社長、謝国棟（しゃ こくどう）基創実業（きそうじつぎょう）株式会社社長、郝建生（はお けんせい）高雄地下鉄会長等 台湾側計 8 名

鈴木英敬三重県知事、山下晋（すすむ）株式会社モビリティランド専務取締役等 三重県側計 6 名

(4) 概要

知事は、鈴鹿サーキットをイメージした「鈴鹿サーキットパーク」を備えた商業施設「TAROKO パーク 高雄」の建設地を視察しました。

冒頭の意見交換において、知事から陳市長に対し、『鈴鹿サーキットパーク』が高雄

市に建設されることは三重県にとっても大きなチャンス。来年5月に開催される高雄国際旅行博（TTF）へブースを出展するとともに、高雄－中部国際航空便が復活するよう働きかけ、またこの施設を契機に三重県で高雄市のことをもっと知ってもらい、三重県と高雄市の観光交流人口を増大させたい。」と述べました。

陳市長は、「高校生の相互の教育旅行（修学旅行）の増大などにより、三重県との観光交流をもっと促進したい。」と述べるとともに、「既に多くの日系企業が高雄に進出している。三重県との経済交流にも期待している。」と述べました。

また、知事より、本年8月の高雄市における大規模爆発事故に関しお見舞いを述べたところ、陳市長より、「お見舞いに感謝申し上げます。今後、日本の石油化学企業の安全管理を視察したいと考えている。」と述べ、知事は「四日市のコンビナート企業の安全管理をぜひ視察していただきたい」と述べました。

その後、蔡社長の案内で、知事は建設地を視察しました。



※陳菊高雄市長との意見交換



※建設現場視察

4 台中市旅行商業組合との夕食交流会

(1) 日時（時刻は現地時間、日本との時差は－1時間）

平成26年11月8日（土曜日）17時30分から20時00分まで

(2) 場所

福臨門飯店（台中市）

(3) 参加者

黄耀徳（こうようとく）台中市旅行商業組合理事長、徐嘉舜（じょかしゆん）嘉普旅行社社長、杜政男（とうまさお）寰群（かんぐん）旅行社社長等 台湾側計7名

鈴木英敬三重県知事、野並健治合歡の郷ホテル&リゾート代表取締役社長、中川廣一美杉リゾート副会長等等 三重県側計6名

(4) 概要

知事から、日ごろから組合に加盟している旅行社が台中地域の観光客を三重県へ送客していただいていること、及び10月に開催された台中国際旅行博に三重県ブースを出展した際、加盟旅行社が三重県の旅行商品を積極的に販売していただいたことに感謝を表明しました。また、「今後は、台湾第3の都市である台中市からも誘客に向けた取組に注力していくこととしており、より一層の協力をお願いしたい。」と述べました。

黄理事長から、「わざわざ知事に台中をご訪問いただき、誠に光栄であり、今後は、三重県への送客により積極的に取り組みたい。」と述べました。

その後の意見交換では、「最近急激に訪日外国人が増加したことにより、都市部ではバスやホテルの不足が生じ手配に困っている。」との発言があり、三重県として事実関係の確認をするとともに、必要に応じ解決に向けて取り組む旨応答しました。



※黄理事長との記念品交換